

第2期四万十市教育振興基本計画 施策進捗状況確認シート

施策の柱	目標種別	R2～R6 成果等目標	R5年度					R6年度							
			R5 担当	R5年度の取組計画(目標)	R5年度の取組実績	取組 等達成 度	R5年度の成果・効果	成果 等達成 度	担当	R6年度の取組計画(目標)	R6年度の取組実績	取組 等達成 度	R6年度の成果・効果	成果 等達成 度	
1 確かな学力を育む(知育)	(1)基礎学力の定着と学力の向上	成果	小学校、中学校ともに全国上位を目指す。  【市総合計画指標】 全国学力・学習状況調査における各教科の正答率 小学校:全国平均+5ポイント 中学校:全国平均+3ポイント	(学校)学校教育係 (指導主事)	学力調査の実施と分析 ①各種学力調査の実施 ②校長会での周知徹底 ③教育研究所と連携して調査結果の分析 ④課題のある学校への訪問と対応策の聞き取り ⑤中学校教科部会の実施	①R5.4.18 全国学力学習状況調査実施 R5.12.5～6 高知県学力定着状況調査実施 ②全ての校長会で周知(事前・事後の取組を含む) ③調査分析結果を8月・10月・2月校長会で各校に伝達 ④9～10月に全校へ訪問し実施、校長面談で聞き取り ⑤教育研究所主催で各教科で実施	A	令和5年度全国学力学習状況調査 全国平均との比較 ○小学校: 国語+7.0 算数+7.7  ○中学校 国語+2.7 数学+6.0 英語-4.3	A	(学校)学校教育係 (指導主事)	①R6.4.18 全国学力学習状況調査実施 R6.12.6～7 高知県学力定着状況調査実施 ②全ての校長会で周知(事前・事後の取組を含む) ③調査分析結果を8月・10月・2月校長会で各校に伝達 ④9～10月に全校へ訪問し実施、校長面談で聞き取り ⑤教育研究所主催で各教科で実施				
	(2)教職員の資質・指導力の向上	成果	年間を通じて3回の支援派遣を実現させる。	(学校)学校教育係 (指導主事)	指導主事等、外部講師を招聘した校内研修の充実 ①校内研修の年間計画作成(外部講師等の招聘予定を明記)市教委に提出 ②学校経営計画の作成及び検証 ③授業改善プランの作成及び検証 ④各学期の支援派遣提出	①～④ 全18校で実施	A	3回以上実施校=18校(100%)	A	(学校)学校教育係 (指導主事)	3回以上実施校=16校(100%)				
	(3)保幼小中連携教育の推進	成果	①すべての学校で保幼小中の情報交換会を実施 ②すべての小学校でスタートカリキュラムを作成	(学校)学校教育係 (主監)	保幼小中連携教育の充実とスタートカリキュラムの作成 ①保幼小中連携教育の研究指定校の設定 ②保幼小情報交換会の開催 ③保育所長会への参加 ④小中の連携教育の実施 ⑤小学校においてスタートカリキュラムの作成	①1校1役教育研究指定において西土佐小中学校を指定 ②、⑤全13小学校にて実施 ②11月に保育所長と学校長の合同研修会を実施 ③4月の保育所長会に参加 ④全18校で実施	A	①全18校で実施(100%) ②全13校で作成(100%)	A	(学校)学校教育係 (管理主幹)	保幼小中連携教育の充実とスタートカリキュラムの作成 ①保幼小中連携教育の研究指定校の設定 ②保幼小中情報交換会の開催 ③保育所長会への参加 ④小中の連携教育の実施 ⑤小学校においてスタートカリキュラムの作成 ⑥保幼小中連携カリキュラムの検討				
	(4)国際理解教育・英語教育の充実	成果	①「全国学力・学習状況調査」英語において全国平均以上をめざす。 ②中3卒業段階において英語検定3級程度取得50%以上をめざす。	(学校)学校教育係 (主監)	英語教育・外国語活動の充実 ①英語検定3級受験料半額補助 ②ALTの重点配置校の指定による英語力の底上げ ③小学校外国語活動に係る研修会の実施 ④中学校における4技能スコア型検定試験GTECの実施 ⑤イングリッシュイベントの実施	①年度内に事業実施(41名助成) ②重点配置校2校(中村中、中村西中)を指定 ③9月、10月の年間2回実施 ④10月に実施 ⑤8月にイングリッシュ・サマースクールを実施(中学生対象) ⑤12月にイングリッシュ・ウィンタースクールを実施(小学生対象) ⑤10月からEnglish Classを実施(中学生対象)	A	①全国学力・学習状況調査(全国平均との比較)本市中学3年生41.3÷全国平均45.6=成果目標に対する達成率 90.6% ②中3卒業段階における英語検定3級程度取得率52.1%(成果目標に対する達成率104.2%) 両目標の達成率平均97.4%	A	(学校)学校教育係 (管理主幹)	英語教育・外国語活動の充実 ①英語検定3級受験料半額補助 ②ALTの重点配置校の指定による英語力の底上げ ③小学校外国語活動に係る研修会の実施 ④英検ESG、英検IBAの実施 ⑤イングリッシュイベントの実施				

第2期四万十市教育振興基本計画 施策進捗状況確認シート

施策の柱	目標種別	R2～R6 成果等目標	R5年度					R6年度						
			R5 担当	R5年度の取組計画(目標)	R5年度の取組実績	取組 等達 成度	R5年度の成果・効果	成果 等達 成度	担当	R6年度の取組計画(目標)	R6年度の取組実績	取組 等達 成度	R6年度の成果・効果	成果 等達 成度
(5) 特別支援教育の推進	活動	①障害のある子どもの能力や特性を最大限に伸ばす。 ②発達障害のある子ども、あるいはその疑いや傾向がみられる子どもの学習・生活支援 ③障害のある子どもの適正就学 ④特別支援教育学校コーディネーターの専門性の向上 ⑤校内支援体制の強化	(主) 学校教育係課	ユニバーサルデザインに基づく学習環境の充実	全18校で実施	A	①学習環境の充実が図られた	○	(管理主幹) 学校教育係課	ユニバーサルデザインに基づく学習環境の充実				
			特別支援教育支援員配置	9校への支援員を通年配置 特別支援教育支援員研修会を年間2回実施(5月、10月)	A	②支援員を配置した9校において学習・生活支援が実施された ③研修回数を2回に増やしたことにより、支援員の資質向上の一助となった ⑤支援員の配置により校内支援体制が強化された	○	特別支援教育支援員配置						
			相談支援体制の整備	教育相談実施(47人) 巡回相談実施(63人)	A	③適正な就学判断に繋がった	○	相談支援体制の整備						
			特別支援教育学校コーディネーター研修会の実施	年間2回実施(不登校担当者との合同研修会) 1回目:5月に実施 2回目:12月に実施	A	④研修参加者(1回目:26人、2回目:31人) ⑤不登校担当者との合同研修会にしたことにより、校内支援体制が強化された	○	特別支援教育学校コーディネーター研修会の実施						
1 確かな学力を育む(知育)	成果	複式学級を有するすべての学校において、複式教育の充実を図るために、各種研修会に全員2回以上参加	(指導主事) 学校教育係課	複式教育の充実 ①複式教育研究大会の実施 ②小小連携教育の推進 ③授業づくり講座への参加	①R5は三原小学校で実施 ②市内小規模校の①、③への参加 ③大用小学校への参加	A	・複式小学校8校中全校において研修に2回以上参加(100%)	A	(指導主事) 学校教育係課	複式教育の充実 ①複式教育研究大会の実施 ②小小連携教育の推進 ③授業づくり講座への参加				
	成果	市内小中学校全校において、PC1人1台環境を目指す。	(指導主事) 学校教育係課	ICT機器及び通信環境の整備 ①導入したPCの授業等における利活用の推進(教職員の研修、授業用ソフト・デジタル教科書の活用等)	①全18小中学校において、1日2～3回は授業で活用 ①県の整備した、オンライン学習を支援する学習支援プラットフォーム「高知家まなびばこ」の活用 ①デジタルドリルを活用して、全18小中学校において持ち帰りの実施	A	・全18小中学校において、1日2～3回は授業で活用100% ・デジタルドリルを活用して、全18小中学校において持ち帰りの実施100% ・小学校ICTスキルアップ研修において悉皆対象者以外の教諭も希望で受講し研鑽できた。	A	(指導主事) 学校教育係課	ICT機器及び通信環境の整備 ①導入したPCの授業等における利活用の推進(教職員の研修、授業用ソフト・デジタル教科書の活用等)				
	活動	「情報活用能力」を教科等横断的に育成する。	(指導主事) 学校教育係課	各校におけるプログラミング教育の充実	全18校においてアンブラグドも含めたプログラミング教育を実施した。	A	プログラミング教育の実施を通して「情報活用能力」が教科等横断的に育成された。	○	(指導主事) 学校教育係課	各校におけるプログラミング教育の充実				

第2期四万十市教育振興基本計画 施策進捗状況確認シート

施策の柱	目標種別	R2～R6 成果等目標	R5年度					R6年度						
			R5 担当	R5年度の取組計画(目標)	R5年度の取組実績	取組等達成度	R5年度の成果・効果	成果等達成度	担当	R6年度の取組計画(目標)	R6年度の取組実績	取組等達成度	R6年度の成果・効果	成果等達成度
2 子どもたちの豊かな心を育む(徳育)	成果	全国学力・学習状況調査における児童生徒の道徳性(自尊心・規範意識)意識調査結果で、全国平均を3ポイント以上上回る。	(学校) 学校 学校 教育 係 課 (指導主事)	四万十市・三原村道徳教育推進委員会の開催・運営 ①4月・2月に全体の推進委員会の開催 ②小・中それぞれで公開授業研修会及び授業反省会の実施 ③実践のまとめ作成	①R5.6、R5.4.10、R5.11に実施 ②中筋小学校・中村西中学校で実施 ③道徳の成果や課題学習、学習指導案をまとめた集録を全18校で作成	A	令和5年度全国学力学習状況調査 児童生徒質問紙設問(4)、(8)、(9)の肯定的評価割合の平均 ○小学校 +0.9 全国90.6、本市91.5 ○中学校 +0.6 全国87.7、本市88.3 達成率:97.2%=(本市91.5+88.3)÷(全国90.6+3+88.3+3)	A	(学校) 学校 学校 教育 係 課 (指導主事)	四万十市・三原村道徳教育推進委員会の開催・運営 ①6月・2月に全体の推進委員会の開催 ②小・中それぞれで公開授業研修会及び授業反省会の実施 ③実践のまとめ作成				
	成果	不登校の発生率を全国平均以下に改善する。	(主) 学校 学校 教育 係 課 (主事)	生活指導・生徒指導の充実【不登校・問題行動等調査】 ①月ごとの3日以上欠席者調査及び個々の状況把握とその分析(教育研究所) ②教育支援センター不登校児指導員・SSWによる家庭訪問 ③不登校担当者会の年2回の実施 ④学校訪問の実施	①月報により実施 ②教育支援センターに不登校児指導員4名、SSW2名を配置し、適宜適切に実施した。 ③5月、12月に実施 ④6-7月及び9-10月に全校実施	A	令和4年度不登校人数(1,000人あたりの出現率) 小学校18.5人(全国17.0人) 中学校47.8人(全国59.8人)  全国平均(17+59.8)÷本市実績(18.5+47.8)=115.8%	A	(管理) 学校 学校 教育 係 課 (主幹)	生活指導・生徒指導の充実【不登校・問題行動等調査】 ①月ごとの3日以上欠席者調査及び個々の状況把握とその分析(教育研究所) ②教育支援センター不登校児指導員・SSWによる家庭訪問 ③不登校担当者会の年2回の実施 ④学校訪問の実施				
	成果	要支援群の子どもたちを減少させ、学級の満足群の子どもたちの割合を高める。	(主) 学校 学校 教育 係 課 (主事)	Q-Uアンケートの実施・分析を通じた学級づくりの推進 ①1学期及び2学期後半のQ-U実施を通して学級の状況把握 ②各学級の実態について共有化を図り、課題のある子どもへの対応策の実施	①全18校で実施 ②全18校で、校内研修や校内支援会において共有化・対応策の検討	①1学期結果:70.7% 2学期後半:73.9% 満足群の子どもとの割合が高まった(104.7%)。	A		(管理) 学校 学校 教育 係 課 (主幹)	Q-Uアンケートの実施・分析を通じた学級づくりの推進 ①1学期及び2学期後半のQ-U実施を通して学級の状況把握 ②各学級の実態について共有化を図り、課題のある子どもへの対応策の実施				
(3) 安全・防災教育の充実	成果	①危機対応マニュアル(防災マニュアル)の整備及び年3回以上の避難訓練の実施。 ②「高知県安全教育プログラム」を使用した防災教育の実施率を100%とする。	学 校 総 務 教 育 係 課	防災教育の推進・避難訓練の実施 ①危機対応マニュアル(防災マニュアル)の整備 ②想定状況を違えた年3回以上の避難訓練の実施 ③「高知県安全教育プログラム」を活用した防災教育の実	①全18校において整備済みの危機対応マニュアルについて各校において見直しを行った。 ②③全18校にて実施	A	①各校において避難訓練の年3回以上の実施100% ②実施率100%	A	学 校 総 務 教 育 係 課	防災教育の推進・避難訓練の実施 ①危機対応マニュアル(防災マニュアル)の整備 ②想定状況を違えた年3回以上の避難訓練の実施 ③「高知県安全教育プログラム」を活用した防災教育の実				
	成果	①市内全域の小中学校において学校地域支援本部事業に取り組む ②コミュニティ・スクールの設置に努める。	学 校 校 長 教 育 係 課	学校支援地域本部事業推進 ①学校支援地域本部事業推進 ②コミュニティ・スクールの拡充	①全18校を対象に15本部で実施。 ②中筋小、西土佐小、西土佐中については取組を継続。それ以外の15校については、年度末までに設置済み。(中村南小については2月設置に向けて人選及び事前協議を行っている。)	A	①18校で実施(100%) ②令和5年度に18校全てに設置(100%)	A	学 校 校 長 教 育 係 課	地域学校協働本部事業 ①地域学校協働本部事業の推進				

第2期四万十市教育振興基本計画 施策進捗状況確認シート

施策の柱	目標種別	R2～R6 成果等目標	R5年度					R6年度						
			R5 担当	R5年度の取組計画(目標)	R5年度の取組実績	取組 等達成 度	R5年度の成果・効果	成果 等達成 度	担当	R6年度の取組計画(目標)	R6年度の取組実績	取組 等達成 度	R6年度の成果・効果	成果 等達成 度
2 子どもたちの豊かな心を育む(徳育)	成果	(5)ふるさと教育の推進 ①すべての学校の年間指導計画にふるさと学習を位置づける。 ②研究発表会に、すべての小学校が参加する。	学学校校教育係課 (主監)	ふるさと教育の推進 ①各学校の年間指導計画に位置づけ ②四万十市一校一役教育研究の研究指定校の指定 ③「ふるさと発見! 四万十の子ども研究発表会」の開催	①全18校で実施 ②大用小、下田中、大用中を指定 ③R6. 1月に実施	A	①全18校で位置づけ(100%) ②1/27に実施し、市内全小学校13校から80名の参加を得た(100%)。	A	(学学校校教育係課 管理主幹)	ふるさと教育の推進 ①各学校の年間指導計画に位置づけ ②四万十市一校一役教育研究の研究指定校の指定 ③「ふるさと発見! 四万十の子ども研究発表会」の開催				
	活動	(6)キャリア教育の充実 キャリアパスポート(学習記録ノート)を作成・活用する。	学学校校教育係課 (指導主事)	キャリアパスポート(学習記録ノート)を作成・活用	全18校で作成・活用 全18校で上級学年・上級学校への引継ぎ	A	社会で人と人が関わりながら生きていくために欠かせないスキルが身に付き、コミュニケーション能力の向上に繋がった	O	(学学校校教育係課 指導主事)	キャリアパスポート(学習記録ノート)を作成・活用				
	活動	(7)環境教育の推進 四万十川に代表される豊かな自然や水資源、森林資源など地域の恵まれた自然環境を有効活用し、体験活動を通して自然保護に対する意識の高揚を図る。	学学校校教育係課	自然体験型学習事業 自然体験・環境教育に関する教育活動	長期宿泊を伴う宿泊型体験学習は未実施	C	未実施のため評価不能	Δ	学学校校教育係課	長期宿泊を伴う宿泊型体験学習のニーズがないため、計画なし				
	活動		学学校校教育係課	山の学習支援事業の実施	市内5校において実施。	A	自然環境を活用した学習を一人ひとりが自ら体感することで、あたりまえにある自然環境への興味・関心・学習意欲の向上が図られた。 海・山・川が身近にある四万十市への郷土愛を育む良い機会となっている。	O	学学校校教育係課	山の学習支援事業の実施				
成果	(8)教育環境の整備 令和4年4月を目標に、市内中学校を3校に再編する。	学総務教育係課	四万十市立小・中学校再編計画(第2次)の推進 ①児童生徒の事前交流事業等の取り組み ②スクールバスの運行 ③未合意校区との意見交換会、保護者アンケート等の実施	①事前交流については大規模校を中心に学期ごとに実施。次年度の中学校の再編に向けて対象中学校の生徒についても事前交流を行っている。 ②既存のスクールバスの円滑な運行を実施した。また、再編となる大用中学校区については、10月からのバス運行や合同部活動への臨時便運行など要望に応じて臨時的な運行を実施した。 ③大用中学校区において保護者との意見交換を3回、地域への報告、保護者との再編に向けた協議を2回実施した。途中保護者アンケートも実施し、意見集約した結果を持って再編に同意した。	A	令和6年4月に市内中学校を3校に再編した。実施率100%	A	学総務教育係課	①児童生徒の事前交流事業等の取り組み ②令和6年4月に再編となった校区について生活状況アンケート等の実施 ③再編後の課題を整理し、今後の教育環境の向上及び改善に向けた検討を実施					

第2期四十万市教育振興基本計画 施策進捗状況確認シート

施策の柱	目標種別	R2～R6 成果等目標	R5年度					R6年度						
			R5 担当	R5年度の取組計画(目標)	R5年度の取組実績	取組等達成度	R5年度の成果・効果	成果等達成度	担当	R6年度の取組計画(目標)	R6年度の取組実績	取組等達成度	R6年度の成果・効果	成果等達成度
3 健やかな身体を育む (体育)	成果	<p>①体育・保健体育の授業が楽しいと思う児童生徒の割合95%以上を目指す。</p> <p>②【市総合計画指標】全国体力・運動能力、運動習慣等調査におけるT得点 小学校:全国平均以上 中学校:全国平均+3ポイント</p>	<p>学校 学校教育係 (主監)</p>	<p><b>体力・運動能力向上に向けた特色ある取組</b></p> <p>児童生徒の実態に基づく体力向上策の策定と実施(学校経営計画との関連を図る)</p>	<p>全18校で学校経営計画に体力向上策を位置づけ、実施</p>	A	<p>①本市小学5年生及び中学2年生における肯定的評価95.8%÷成果目標95.0%=成果目標に対する達成率100.8%</p> <p>②小学5年男女平均T得点51.9点÷全国平均50点=成果目標に対する達成率103.8%</p> <p>③中学2年男女平均T得点52.1点÷成果目標53点=成果目標に対する達成率98.3%</p>	A	<p>(管理主幹) 学校 学校教育係</p>	<p><b>体力・運動能力向上に向けた特色ある取組</b></p> <p>児童生徒の実態に基づく体力向上策の策定と実施(学校経営計画との関連を図る)</p>				
	成果	<p>規則正しい生活リズムが身に付いている(毎日、同じくらの時刻に起床)児童の割合75%以上、生徒の割合65%以上とする。</p>	<p>学学 校校 主主 教教 育育 係係 課課</p> <p>学学 校校 給給 食食 係係 課課</p>	<p><b>基本的な生活習慣の定着に向けた学校と家庭が連携した取組の推進</b></p> <p>①学期に1回のアンケート調査の実施 ②学校便り等によるアンケート結果の家庭への情報提供 ③食生活調査の実施 ④学校給食摂取基準の作成(体重、身長から栄養価を出す。肥満傾向児出現率の算出) ⑤朝ごはんコンテストの実施(給食献立に採用) ⑥給食時間の放送(早寝早起きについて啓発)</p>	<p>①全18校で実施。 ②全18校で実施。 ③6月実施。小5、中2対象。 ④4.5月実施の身体測定結果より計算し、7月摂取基準作成。 ⑤8月実施。小5以上対象。応募368、採用24件。 ⑥毎日実施。</p>	A	<p>(全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙 令和4年度調査結果)設問「毎日、同じくらの時刻に起きている」に対する「そう思う」の回答率 児童53.9%、生徒65.4%(達成率108.6%=(53.9+65.4)/(55.1+54.8))</p> <p>(参考:肯定的回答率 児童91.4%、生徒93.2%)</p>	A	<p>学学 校校 管管 理理 育育 主主 係係 課課</p> <p>学学 校校 給給 食食 係係 課課</p>	<p><b>基本的な生活習慣の定着に向けた学校と家庭が連携した取組の推進</b></p> <p>①学期に1回のアンケート調査の実施 ②学校便り等によるアンケート結果の家庭への情報提供 ③食生活調査の実施 ④学校給食摂取基準の作成(体重、身長から栄養価を出す。肥満傾向児出現率の算出) ⑤朝ごはんコンテストの実施(給食献立に採用) ⑥給食時間の放送(早寝早起きについて啓発)</p>				
	成果	<p>朝食を必ず食べる児童の割合を95%以上、生徒の割合を90%以上とする。</p>	<p>学学 校校 給給 食食 係係 課課</p>	<p><b>食事の重要性について理解を図る年間指導計画の作成</b></p> <p>①食に関する指導の全体計画及び年間指導計画に基づく食育の推進 ②学校給食の献立から減塩化を図る</p>	<p>①～② 全18校で実施</p>	A	<p>(令和5年度 食に関する指導の実施状況調査)朝食を必ず食べる児童の割合84%、生徒の割合83%(達成率90.3%=(84+83)/(95+90))</p>	A	<p>学学 校校 給給 食食 係係 課課</p>	<p><b>食事の重要性について理解を図る年間指導計画の作成</b></p> <p>①食に関する指導の全体計画及び年間指導計画に基づく食育の推進 ②学校給食の献立から減塩化を図る</p>				
(1)文化財の保護	成果	<p>①調査件数20件 ②指定文化財指定件数2件 ③博物館企画展12回 ④収蔵資料増加数10点</p>	<p>社社 会会 生生 教教 涯涯 学学 振振 興興 係係</p>	<p><b>文化財調査の実施</b></p> <p>①開発事業に伴う試掘確認調査及び報告書刊行に向けた遺物整理 ②博物館展示のための調査 ・企画展関連調査4件 ・七星剣年代調査(2年目4件) ③博物館収蔵資料に関する調査 ・寄贈資料確認調査(2件)</p>		A	<p>①10件(年間目標4件に対し250%) ②計画期間中新規指定文化財累計1件(4年目累計目標1.6件に対し63%) ③博物館企画展4回(年間目標2回に対し200%) ④収蔵資料増加数2点(年間目標2点に対し100%)</p>	S	<p>社社 会会 生生 教教 涯涯 学学 振振 興興 係係</p>	<p><b>文化財調査の実施</b></p> <p>①開発事業に伴う試掘確認調査及び報告書作成、遺物整理 ②博物館展示のための調査 ③博物館収蔵資料に関する調査 ④市史編纂に係る市内文化財調査</p>				

第2期四万十市教育振興基本計画 施策進捗状況確認シート

施策の柱	目標種別	R2～R6 成果等目標	R5年度					R6年度						
			R5 担当	R5年度の取組計画(目標)	R5年度の取組実績	取組 等達 成度	R5年度の成果・効果	成果 等達 成度	担当	R6年度の取組計画(目標)	R6年度の取組実績	取組 等達 成度	R6年度の成果・効果	成果 等達 成度
4 地域文化の振興	成果	博物館来館者数をリニューアル前の4,000人程度から令和5年度には、10,000人を目指す。	社会 生涯 学習 振興 課 係	<b>郷土博物館の運営</b> ①年間4回の企画展開催 ②小中学校と連携したふるさと教育への活用 ③普及イベントの開催	①年間4回の企画展開催 ・澤良木庄一展:R4.7月～9月 ・ぶしゅかん展:R5.9～R5.11月 ・幕末展:R5.10～R6.1月 ・江川崎展:R6.2～5月 ②小学校6校、中学校1校、高校1校、その他3者で出前授業等を実施 ③博物館クイズラリー実施	A	博物館来館者数 4,591人(令和5年度目標10,000人に対し46%)	C	社会 生涯 学習 振興 課 係	<b>郷土博物館の運営</b> ①年間4回の企画展開催 ②小中学校と連携したふるさと教育への活用 ③普及イベントの開催				
	成果	文化的景観の保全について各種事業と適切な調整が行われ、効果的な活用が継続される。  【市総合計画指標】 地域文化に関する講座数年間25回	社会 生涯 学習 振興 課 係	<b>四万十川の文化的景観の保全・継承</b> ①まち歩きと連動したサイト運営 ②企画展の開催 ③重要な構成要素追加協議 ④流域市町連携事業実施 ⑤整備活用計画改定	①まち歩きと連動したサイト運営 ・観光課イベント連携1回 ②江川崎展1回開催、くろそん手帖イベント1回 ③整備活用計画改定に合わせて検討中 ④ ・流域連携情報発信事業 ・流域会議1回開催 ⑤ ・市検討会議1回開催 ・整備活用計画検討	A	地域文化に関する講座17回(団体講座4回、文化講座4回出前授業8回企画展1回計17回)(目標回数に対し68%)	C	社会 生涯 学習 振興 課 係	<b>四万十川の文化的景観の保全・継承</b> ①まち歩きと連動したサイト運営 ②企画展の開催 ③重要な構成要素追加協議 ④流域市町連携事業実施 ⑤整備活用計画改定				
5 青少年の育成	成果	①計画期間中に、全小中学校で情報モラル教室を開催する ②各年度における年間補導件数10人以下  ※市総合計画指標も同値	少年 学校 補導 センター 係	<b>少年補導センター活動</b> ①街頭巡回 ②環境浄化活動 ③学校における情報モラル教室(非行防止教室)の開催 ④インターネット接続機器のフィルタリングの普及啓発(インターネットの利用ルール啓発)	①(3月末実績見込) 午前巡回 230回 下校時巡回 207回 合同早朝パト 22回 夜間パト 10回 ②(3月末実績見込) 巡回時の声かけ180回、指導77回(登下校時、量販店、公園、遊泳場等) ③2会場3教室で実施 ④インターネット利用に関するアンケート実施	A	【年度毎に漸増する成果指標の記載例備忘】 ①4年度目の目標校数15校(全18校の4/5)に対し、計画期間中累計実施校数11校(新規では未実施であるが中村中、西土佐中において実施) ②年間補導人数 0人	A	少年 学校 補導 センター 係	<b>少年補導センター活動</b> ①街頭巡回 ②環境浄化活動 ③学校における情報モラル教室(非行防止教室)の開催 ④インターネット接続機器のフィルタリングの普及啓発(インターネットの利用ルール啓発)				
	活動	青少年健全育成四万十市民会議を軸としたイベント事業等の実施	社会 生涯 学習 振興 課 係	○青少年健全育成事業の実施	○親子向け講座の実施(7/8) ○博物館クイズラリー(企画展と連動、通年) ○博物館企画展連携講座の実施(1/21) ○文化センター閉館祭イベント(3/30～3/31)	A	博物館連携や高等学校連携等の施設・学校との連携を図り参加者と受け入れ側に良い効果が出るよう取り組んでいる。	O	社会 生涯 学習 振興 課 係	○青少年健全育成事業の実施				

第2期四万十市教育振興基本計画 施策進捗状況確認シート

施策の柱	目標種別	R2～R6 成果等目標	R5年度					R6年度						
			R5 担当	R5年度の取組計画(目標)	R5年度の取組実績	取組 等達 成度	R5年度の成果・効果	成果 等達 成度	担当	R6年度の取組計画(目標)	R6年度の取組実績	取組 等達 成度	R6年度の成果・効果	成果 等達 成度
6 生涯学習の振興	成果	図書環境の整備充実 【市総合計画指標】 ①図書館利用者登録率(人口比17.2%) ②市民一人当たり貸出点数(5.07冊) ③ネット予約冊数(700冊)	公民館生涯学習課	○指定管理による図書館運営 ○子ども読書活動の推進	○図書館連絡会の開催(毎月) ○子ども読書活動推進委員会(1回) ○子ども読書アンケートの実施(12月～1月)	A	①図書館利用者登録率13.8%(目標17.2%に対し80.2%) (令和5年12月末現在4,398人) ②市民一人当たり貸出点数3.27冊(目標5.07冊に対し64.5%)(12月末現在104,293冊) ③ネット予約冊数1,342冊(12月現在、目標700冊に対し191.7%) ネット予約は目標冊数を大幅に上回ったが、①②につながっていないことから、成果等達成度については総合判断としてBとした。	B	公民館生涯学習課	○図書館連絡会の開催(毎月) ○子ども読書活動推進委員会(1回) ○子ども読書アンケートの実施(12月～1月)				
	成果	市立中央公民館の閉館後においても、令和元年度に実施した生涯学習事業と同等の事業展開を図る 【市総合計画指標】 生涯学習講座の参加者数400人	公民館生涯学習課	生涯学習活動の継続及び支援 ①既存施設を利用した生涯学習事業の継続 ②登録団体への支援	①四万十シルバー教室(延べ182人) ①中国語講座(17人) ①中国文化交流講座(14人) ①市民大学(2講座:332人) ①高知大学出前公開講座(3講座:65人、オンライン版) ①和紙の折り染め体験(19人) ①お箸づくり体験(20人) ①正月飾りづくり教室(26人) ②登録団体の活動支援として、団体の施設使用料の一部負担をした。(R5.4月～R6.3月)	A	生涯学習講座の総参加者数 686人/400人=168.75%	S	社会生涯学習振興課	生涯学習活動の継続及び支援 ①生涯学習事業の継続 ②活動団体の支援				
	成果	管理運営実施計画や実施設計の策定	文化複合生涯学習整備推進室	文化複合施設整備に係る工事等の実施 ①工事監理業務委託 ②施設建設工事(建築主体工事、電気設備工事、機械警備工事、舞台設備工事)の実施 ③施設映像音響・情報表示設備工事の実施 ④施設情報ネットワーク工事の実施 ⑤施設備品購入契約の締結 ⑥施設駐車場整備工事(土木工事、建築工事)の実施	①委託により適切に実施。 ②10月に全ての工事を完了し、施設竣工。 ③②の電気設備工事の中に含まれる。 ④②の電気設備工事の中に一部含まれる。一部は通信設備設置及び構築業務として委託で実施。 ⑤カーテン・ロールスクリーン、音楽備品、家具製造、ラック・キャビ他について購入契約を締結。順次納品中、本年度内に納品。 ⑥10月に発注し4月末完成に向け工事施工中。	A	令和6年4月29日開館に向け、概ね順調に進められている。	A	文化複合生涯学習整備推進室	総合文化センター整備に係る工事等の実施 ①湧水調査及び対応方針の検討 ②一部繰越となった施設駐車場整備工事(土木工事、建築工事)の実施 ③四万十市立文化センター跡地利用の検討				

第2期四万十市教育振興基本計画 施策進捗状況確認シート

施策の柱	目標種別	R2～R6 成果等目標	R5年度				R6年度							
			R5 担当	R5年度の取組計画(目標)	R5年度の取組実績	取組等達成度	R5年度の成果・効果	成果等達成度	担当	R6年度の取組計画(目標)	R6年度の取組実績	取組等達成度	R6年度の成果・効果	成果等達成度
6 生涯学習の振興	成果	設置目的の異なる施設を複合化した施設となるので、管理や運営に必要な事項を定め、スムーズな開館・運営を行う	文化複合生涯学習施設整備推進室	文化複合施設開館準備 ①附属備品使用料の決定(規則の制定) ②施設ホームページの作成 ③施設受付開始・対応 ④イベントの実施 ⑤開館記念事業の計画作成 ⑥指定管理業務仕様書の作成	①2月定例教育委員会での議決を経て規則制定。 ②施設ホームページを作成し、9月27日から公開。 ③10月から施設の利用予約受付を開始。 ④ダンスバトル&コンテスト(11月、出場者173名、来場者201名)、パシフィックフィルハーモニア東京オーケストラキャラバン(1月)、EVIKEN THE ENTERTAINMENT(1月)、NHKのど自慢(1月)、劇団四季ファミリーミュージカル「ジョン万次郎の夢」(2月)、Don't Stop Believin'(2月) ⑤開催する事業のジャンルを計画、今後詳細を詰めていく。 ⑥指定管理者公募時の仕様をもとに3月に作成予定。	A	令和6年4月29日開館に向け、概ね順調に進められている。	A	文化複合生涯学習施設整備推進室	文化複合施設開館準備 総合文化センター開館及び活用 ①開館記念式典の開催 ②施設貸出開始 ③開館記念事業の実施 ④文化事業の実施				
	活動	質の高い芸術文化に触れる機会を確保し、文化芸術に関わる人材の育成、団体活動の支援を行う	公民館運営係・生涯学習課 社会教育振興係	①四万十市美術展の実施 ②四万十川国際音楽祭の実施 ③四万十市文化祭の実施	①運営委員会(3回) ①四万十市美術展(11月。入場者910人) ②実行委員会(3回) ②中村交響楽団演奏会(7月、579人) ②県立美術館主催アートマネジメントセミナー(共催事業)(8月、47人) ②ジュニア弦楽アンサンブル講座(R5.6月～R6.3月) ③実行委員会(4回) ③小学校公演(5月・6月・12月、1,638人) ③保育所公演(6月、731人) ③文化庁補助事業ミュージカル(後援事業)(10月、357人) ③フェスティバル公演「世界の音楽」(12月、192人) ④執行委員会(2回) ④文化祭参加団体への支援(7月～1月。参加団体32団体) ④合同文化祭の実施(11月) ○その他 ・最後の清流四万十川写真展作品(13点)展示	A	新施設開館に伴う各事業の在り方を検討しつつ、市民が芸術に親しむ機会と自ら参加する場を提供、文化芸術の振興に寄与した。	O	社会生涯学習振興係	①四万十市美術展の実施 ②四万十川国際音楽祭の実施 ③四万十市文化祭の実施				



第2期四万十市教育振興基本計画 施策進捗状況確認シート

施策の柱	目標種別	R2～R6 成果等目標	R5年度					R6年度					
			R5 担当	R5年度の取組計画(目標)	R5年度の取組実績	取組 等達 成度	R5年度の成果・効果	成果 等達 成度	担当	R6年度の取組計画(目標)	R6年度の取組実績	取組 等達 成度	R6年度の成果・効果
(3) 人権教育の推進	活動	人権問題の学習機会の充実を図る	人権教育推進講座の開催 ①人権教育推進講座の開催 ②人権教育研究大会の開催	①11月～12月に計4回開催。延べ73名参加。 ②8/4開催。教職員、保育士を中心に304名参加。	A	①扱いの少ないテーマなども取り入れグループワークの実施もあり学習の充実を図れた。 ②講演、他所の実践を学び新たな知識等を得られた。	○	人権教育推進講座の開催 ①人権教育推進講座の開催 ②人権教育研究大会の開催					
	活動	男女共同参画意識の形成を図る	①男女共同参画講座の開催 ②男女共同参画計画の推進	①文化教室(4種、計20回)、講演(サテライト会場誘致1回)、3回連続講座(1種) ②男女共同参画計画推進協議会開催(1回)、婦人会活動支援(補助金等)	A	従来の働く婦人の家講座の実施の他、こうち男女共同参画センターの事業に広報やサテライト会場として協力。また独自の講座を取り入れた。講座、講演の参加者が少なく、意識形成の達成度は不明。	△	①男女共同参画講座の開催 ②男女共同参画計画の推進					
(1) 健康とふれあいのための生涯スポーツの振興	成果	①教室後のアンケート調査において満足群の参加者の割合を高める。 満足群率目標80% ②【市総合計画指標】1人当たりの社会体育施設利用者数(5.0回人口比)	スポーツ生涯学習関係 ①スポーツ体験教室 ②日本体育大学スポーツ等連携事業 ③体育施設の計画的な老朽化対策	①「スポーツ合同体験会2023(9/9、参加者67名)」安並運動施設5会場を利用。8種目を実施。 ①第1回スケートボード大会 Shimanto Cup2023(12/3 参加者 35名) ②「三矢八千代」氏によるリズムフィットネス教室(2/4、参加者95名) ③温水プールチェア装置送水系統の循環ポンプ修繕、温水プールオゾン反応処理装置修繕、下流交流センター白アリ防除、非常灯修繕	A	①合同体験会については、参加者の80%以上が満足との結果が得られた。(その他の教室はアンケート未実施のため、評価不能。) ②令和5年度4.7回(12月末時点集計、目標に対して94%)	A	スポーツ生涯学習関係 ①スポーツ体験教室 ②運動・あそび体験 ③日本体育大学スポーツ等連携事業 ④体育施設の計画的な老朽化対策					
			四万十川リバーサイドフルウォークの実施及び大会のあり方等の見直し	令和4年度で事業終了		—		スポーツ生涯学習関係					
	7 スポーツの振興		①交流人口増大	スポーツ生涯学習関係	●第29回四万十川ウルトラマラソン ・開催日 令和5年10月15日(日) 【出走者数】 ・100kmの部 1,441人 ・60kmの部 522人 計 1,963人 【完走者数】 ・100kmの部 1,073人 ・60kmの部 457人 計 1,530人 ※完走率 77.9%	A	・ランナーのエントリー:募集から1週間程度で定員に到達。 ・ボランティア数:1,751名地域を代表するイベントを成功へと導くことができた。 ・4年ぶりの再起大会(come back)となったが、RKC特別番組製作並び放送、SNS(ホームページ)により、県内外に大会の魅力を広げ発信した。	○	スポーツ生涯学習関係 四万十川ウルトラマラソンの実施				

第2期四万十市教育振興基本計画 施策進捗状況確認シート

施策の柱	目標種別	R2～R6 成果等目標	R5年度					R6年度						
			R5 担当	R5年度の取組計画(目標)	R5年度の取組実績	取組 等達 成度	R5年度の成果・効果	成果 等達 成度	担当	R6年度の取組計画(目標)	R6年度の取組実績	取組 等達 成度	R6年度の成果・効果	成果 等達 成度
(2)各種イベント等を介したスポーツの振興	活動	②地域経済活性化 ③市民スポーツ意識の向上 ④競技力の向上	涯 ツ学 振習 興課 係	スポーツ合宿等の誘致活動 (※観光商工課、観光協会、県観光コンベンションスポーツ協会などと連携)	【スポーツ合宿】 ・関西学院大学準硬式野球部(2/11～14) ・明治安田生命硬式野球部(2/16～21) ・同志社大学硬式野球部(2/22～28) ・京都先端科学大学準硬式野球部(3/1～5) ・札幌学院大学硬式野球部(3/6～8)	A	・スポーツ合宿:5団体から合宿に来訪見込。 ・誘致活動:関東方面を実施。(2大学、7旅行会社など) 高知県観光コンベンションが主催する旅行会社(エージェント)を対象とした説明会に参加。(14社)	○	スポ 生   涯 ツ学 振習 興課 係	①スポーツ合宿等の誘致活動 ②スポーツツーリズムの推進				
					【誘致活動】 ・東京近郊(11/16～18) ・中国地方:岡山方面(1/16)		スポ 生   涯 ツ学 振習 興課 係		①女子ソフトボールJDリーグの実施 ②西日本一般男子ソフトボール大会の実施					

○目標種別

成果 = 施策に「主な取り組み表」があるものは「成果」目標があるものとして取り扱い、「成身・効果区分(目標種別が「活動」の施策)  
 活動 = 施策に「主な取り組み表」が無く、また本文に成果目標が無いものは「活動」を選択  
 ※「活動」の場合、各施策の本文中で目指している「効果」を効果目標として記入する。 ○ = 良い効果が得られたもの  
 △ = 効果が無いか、効果影響の良否が不明となったもの  
 × = 悪い効果となったもの